

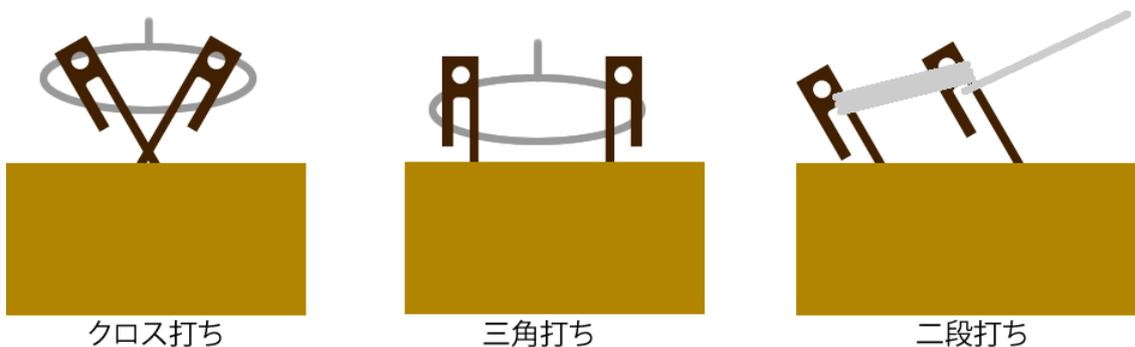
E6-1 キャンプにおける荒天対策の方法を説明する。

※“荒天”とは、風雨の激しい天候。

1. 強風への対応

1-1. タープ

- ・タープ自体の高さを低くし、風を受けにくくする。
ポールの中を一節抜く。(抜けない場合は一節折る)
注：風上側を地面に直接ペグダウンすると風をまともに受けて崩壊する危険がある。
- ・張り綱、ペグを補強する。
可能であれば、立木、柱、岩等の頑丈な物に結びつける。
ペグを強力なモノに変える。(太い、長い、V字、T字)
ペグをクロス打ちないし、三角打ち、二段打ちする。



※ペグの位置が近すぎると土が崩れて抜けやすくなる。二段打ちがベスト。

- ・上の方法でも対応しきれない、もしくはタープが損傷する可能性がある場合には、無理をせずに畳む。

1-2. テント

- ・設営時、全ての張り綱を張る。
- ・設営時、フライ裏側のマジックテープは必ず留める。(ドームテント)
※ドームテントは、フレームの交差点をマジックテープで巻き、さらにそこから張り綱を引いて地面にペグダウンすることで強度を出している。
- ・設営時、風上に入口が向かないようにする。

2. 豪雨への対応

2-1. タープ

- ・稜線をピンと張り、弛まないようにする。
メインポールの張り綱を45度よりも狭くし、できるだけ遠くにペグダウンする。
- ・“翼”を落とす。(メインポールとサブポールの高低差を大きくする)

サブポールを斜めにし、張り綱を引いて雨が流れ落ちるようにする。

- ・途中のグロメット（ハトメ）から張り綱を引いて雨道にする。

2-2. テント

- ・設営時、周囲よりも低くなっている場所には設営しない。

雨水の流れ道になっていないか地面の様子を確認する。

- ・テントが水没する恐れがある場合は側溝を掘り、雨水がテントに及ばないようにする。

3. 降雪への対応

3-1. タープ

- ・サブポールを全て撤去し、地面に直接ペグダウンする。

3-2. テント

- ・テントの上部にポール2本とブルーシートで三角屋根を作って被せる。